

ブログ名 **元気村日記inなら**

管理人 **元気村日記** さん



http://genkimura07jc.at.webry.info/

検索

プロフィール



やまもと かずひろ

本名 **山本 憲宥**さん

奈良市の田園地帯で生まれ育った36歳。建設会社の役員を務める一方、平成16年から奈良青年会議所のメンバーとして活動。自身の幼少時の経験から子供に自然に触れてほしいと農作業体験「元気村」を企画。同会議所青少年育成委員会委員長として他のメンバーと協力し、運営や情報発信に精力的に当たっている。

ブログ開設日

2007年5月

アクセス数

1日平均約 **30** 件

最近の更新状況

2007年8~9月

日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12			

●は更新日

元気村日記 さんの

いちおしブログ

» BASARA MATSURI

「バサラ祭りは「古都で新しい祭りを」と平成11年に始まった若者らの真夏のダンスイベント。写真の使い方など随所に工夫がみられ、ブログ作りの参考にしています」

見て触って知ってほしい

奈良市北東部の大柳生地区は豊かな自然に囲まれている。ここに今年5月、小学生から高校生までの子供たちと保護者ら約400人が集まり、約2000平方メートルの農地に米やサツマイモ、トウモロコシなどの野菜、ヒマワリやコスモスなどの花の種や苗を協力して植え付けた。

奈良青年会議所が青少年団体と協力して実施した農作業体験事業。「子供たちに自然に触れる機会を」と今年初めて企画された。

「元気村」と名付けられたこの農地。その後、管理する同会議所青少年育成委員会のメンバーが作物の生育状況や近況などを発信しているのがこのブログだ。

「収穫までの間、参加者はなかなか現地へ足を運ぶことができない。自分たちが植えた作物がどうなっているか気になるだろうし、何とか情報発信できないかと考えた」と同委員会の山本憲宥委員長。山本さん自身、同市内のどかな田園地帯で育ったことが子供向けの農作業体験を企画する下支えになった。

現地の写真とともにアップする書き込みは臨場感あふれるものが多い。

「さっそく小さな命がありました。素晴らしい!!」(植え付けから4日

後、百日草の芽が出ているのを見つけた際)

「これぞまさに『大地の恵み』。みんな頑張ってくれ、たくましく育ててね」(翌日、初めての雨が降ったのメッセージ)

ブログは内輪だけでなく、外部との交流を作ることもつながった。

骨が折れる水やり作業に苦労していると、地元の大柳生小学校の6年生2人が手伝ってくれた。それを紹介すると、同小の別の保護者から「うちの子も水やりに行きたいと言ってるんですが」と連絡があった。6月末、近くの川でたくさんのホタルを見ることができ

と伝えると「どの辺で見られるの?」との問い合わせが寄せられた。

自然相手の作業にはアクシデントもつきもの。8月2日、せっかく大きく育ったトウモロコシが野生のサルに食い荒らされ「かなしいお知らせ」と題して報告。すると、「本当に野生動物が身近にいるんだ」などと驚きの声も寄せられたほか、ブログを見た参加者有志が駆けつけ、片づけを手伝ってくれた。

山本さんたちがブログを更新するのは主に仕事が終わった後の夜中。自

ら現地で写真を撮るのが基本だが、知人らにも呼びかけ、農地近くに寄った際には様子を見に寄り、写真を撮ってもらうよう頼んでいる。

「長期間更新が滞るようなことがないように心がけています」。多彩な作物を植えたことで、ブログの内容に変化を持たせることもできている。

「ブログを通じて自然や農業体験に関心を持つ人が少しでも増えたら」。いよいよ16日は収穫祭。実りの秋の様子は農作業の参加者以外でも楽しめそう。



文:永田岳彦 イラスト:森井真理

(土曜、随時掲載)